熊本大学学術リポジトリ

# 道教廟の年中行事と集い機能について ： 台南市東区「関帝廟」ランタン祭りの一日観察調査より

| | |
|---|---|
| 著者 | 鳥飼 香代子, 蕭 玉燕 |
| 雑誌名 | 熊本大学教育学部紀要 自然科学 |
| 巻 | 53 |
| ページ | 123-131 |
| 発行年 | 2004-11-30 |
| その他の言語のタイトル | Annual events and gathering functions in the Taoist Temples : An observation on Feast of Lanterns in 'Kuan-Ti' Tmple, East Ward, Tainan City |
| URL | http://hdl.handle.net/2298/2451 |

熊本大学教育学部紀要，自然科学
第53号，123－131，2004

# 道教廟の年中行事と集い機能について

## ――台南市東区「関帝廟」ランタン祭りの一日観察調査より――

鳥飼香代子・蕭　玉燕*

# ANNUAL EVENTS AND GATHERING FUNCTIONS IN THE TAOIST TEMPLES

## ―― An observation on Feast of Lanterns in 'Kuan-Ti' Tmple,East Ward,Tainan City ――

Kayoko TORIKAI and Yuyen HSIAO*

(Received October 4, 2004)

This paper examines visitors to the festival events in Taoist temples.

It reviews the areas where used in the temples and while visitors are there, what activities are taken. The age range and the gender of the local visitors accessing to the temples are specified in this research. It is found that visitors could use the grounds in front of the temples for their activities and any events.

In this paper, it is also found that female visitors tend to avoid the use of summerhouses in the ground. Moreover, visitors to the annual events are not only people who often gather in the temples, therefore it shows that public visitors have the sense of belong, and the significance of Taoist temples.

In conclusion, it is considered that the ground in front of the temples is a significant space to attract new visitors in any age.

**Key words :** Taoist temples. Feast of Lanterns. gathering function. summerhouses in the ground

## 1. 研究の目的

筆者らは一連の研究で，宗教施設である廟が地域住民の集いの場としても利用されていることを，指摘してきた[注1]．その中で，廟に宗教施設としての機能を越えて，日常的な集い利用があるかどうかを，参拝以外のいわば余暇的活動の有無，日常的な廟利用，一定時間の滞在，利用者相互の情報交換の有無などの点から検討し，多くの廟で日常的な集い利用があることを明らかにした．このような日常的な集い利用によって，住民は廟への帰属意識を強固にしていく．今回は廟の年中行事（ここでは祭りをとりあげる）が廟の帰属意識，さらには集い利用に対してどのような影響があるのか，考察したい．この点を明らかにし，都市における集い空間提言への示唆を得たい．

集い利用の分析で特徴的だったのは，とりわけ高齢の男性の参加が多く，高齢の女性やその他の年齢層は比較的少ない点である．したがって廟への帰属意識の視点からみると，年中行事の企画は参加者の幅を広げ，かつ集い利用の常連から人数を拡大することが重要である．そこで，年中行事参加者の年齢や性別を分析の中心とする．

利用者の多い廟である「関帝廟」は毎年主神〔関帝爺－関羽〕の誕生日（旧暦1月13日）に，近所の住民や信者と一緒にイベントを行う．イベントは午後から始まるため，午前中は日常の利用がみられる．そこでまず，日常利用を，続いてイベントを検討する．日常利用は集いがあるかどうかを中心にみる為，余暇的活動の有無，一定時間の滞在，利用者相互の情報交換（会話）の有無をみるが，特に利用者集団の規模とメンバーおよびその変化に注目する．続いて，午後のイベントでは，集い利用を超えて，参加者の層や規模の拡大が起こり，地域住民の帰属意識形成に寄与しているかどうかを検討する．つまり午前中の集い集団がイベントではどのように変化するか，日常の集い利用では参加していない層の参加があるか，イベントのための地域住民の特別な参加や出番があるか，を中心に分析する．

* 熊本大学自然科学研究科博士後期課程　台湾南栄技術学院講師

## 2.　調査期日と方法

■調査期日：関帝廟「一日観察調査」—2003年2月15日（土曜日），調査時間：07：00－19：00，晴

■調査方法：調査員2人，ビデオとカメラを使いながら，人の動向を観察し，記録する．

## 3.　「関帝殿」の概要：(図1参照)

管理委員会出版の廟紹介によると，三級古跡である本廟の前身は当初（1817年），城外に立つ草葺小屋の官廟であった．1817年官員の呼びかけで，大規模な廟を城内に建てなおしたため，この廟は取り壊されることなく地域の住民に管理をゆだねられた．その後，5回ほどの修理や建て直しをし，現在の廟は1987年に完成したものである．現在は官廟ではないが，巨大な財力と多くの信者を持つ地方の名廟である．大規模な廟建築（600m²）と庭（1700m²）をもち，近隣住民から公園のように広い存在だと言われている（敷地は全体では約3000m²）．本廟の正式な管理委員会設立は1982年であったが，その前から管理員や経理を信者代表から選出していた．1968年から廟の収入源確保のため，廟の境内で夜市を経営（現在は中止），巨大な財力形成の基礎をつくったといわれている．本廟は毎年3回の代表神の聖誕祭には老人ホームや養護施設などに米や生活用品を寄付する．さらに，地域の各「里」に緊急の一時援助金も出す．あるいは，手作り提灯展示大会やランタン祭りの時には汁粉を食べる会とクイズ大会など住民の楽しみを提供している．

周辺利用の現状については図2（廟周辺利用現状参照）を参照．

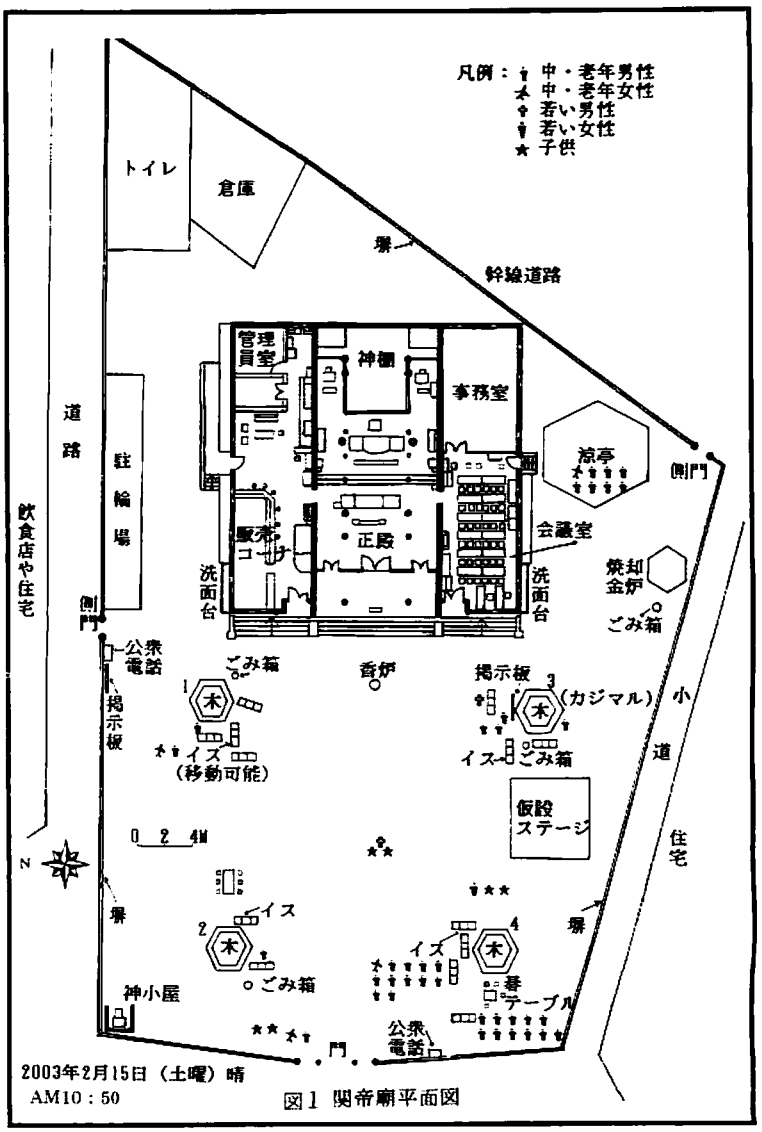


図1：関帝廟平面図

1983年都市計画のため幹線道路（30m）が廟の後ろの敷地の一部に食い込むかたちで通過したため，建直しを計画し，1987年に現在の廟建築を完成した．かつて夜市があった廟の周りは，飲食店や商店が多く見られる．幹線道路の完成に連れて，廟周辺の住商混在利用も増大した．また，近くに公園もあるが，廟庭の利用は公園より盛んである．

また，関帝廟の年中行事については表1参照．

## 4.　一日観察内容

時系列で人数の変化と性別，行為内容をみていく．

なお左附属室前のカジマル木は「木1」，右附属室前は「木3」，入り口の門の右の木は「木4」，左は「木3」と略称する．写真1から4と図3参照．

表示してある時刻は，廟訪問者の移動や行為内容の変化があった時点を示している．

7：00　運動が終わった中老年男女は2グループに分かれて世間話をしている．1グループは廟庭で7人（女性5人，男性2人）．もう1グループは木1の下で，4女2男が話をしている．1老人は座って，休憩．木4下で1老人は体操をしている．婦人1人は庭の掃除をしている．

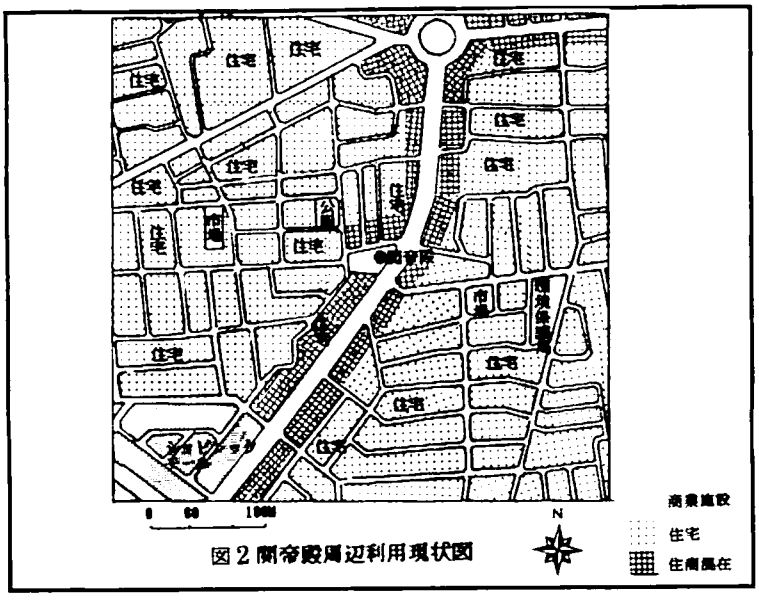


図2：関帝廟周辺利用現状図

表1：関帝廟の聖誕祭及び主な年中行事（春節文化祭及びランタン祭り，クイズ大会のチラシより）

| 期　日 | 時　間 | イベントの内容 |
|---|---|---|
| 2/1～2/15 | 09:00～22:00 | 美食街　（懐かしい昔料理） |
| 2/1～4/30 | 09:00～22:00 | 願い叶う風鈴と平安灯の受け付け |
| 2月8日 | 07:30～09:30<br>23:00～ | 復興中学校の管弦演奏<br>玉皇上帝の誕生日祝い儀式開始 |
| 2月9日 | 09:00～11:00<br>13:00～ | お経―関帝殿のお経を読む団体<br>指人形劇の演出 |
| 2月10日 | 13:30 | 指人形劇の演出 |
| 2月11日 | 19:30 | 復興劇学校特技団 |
| 2月12日 | 10:00～17:00<br>13:30<br>17:00<br>19:00 | 「過早橋」（厄払い法事）<br>「賞兵」（神様の官兵にご馳走を供える）、指人形劇の演出<br>関帝誕生祝い儀式のリハーサル<br>「南天府」からお祝いのお経 |
| 2月13日<br>関帝聖誕 | 08:00～09:00<br>09:00～09:30<br>09:30～11:00<br><br>11:00<br>14:00～16:30<br>19:00 | 誕生祝い儀式（復興小、中学校の学生担当）<br>智恵の毛を抜ける（御めでたい赤い卵、飴を配る）<br>廟庭―太極拳、フォークダンス（A）夜班<br>元極舞、フォークダンス（B）朝班<br>宴王席（古礼宴会）<br>東光小学校―中山琴、節奏楽の演奏<br>バント演奏と平安宴会（関帝誕生祝い披露宴） |
| 2月14日 | 14:30<br>19:00～21:00 | 社区、老人会のカラオケ大会<br>伝統中国楽器演奏 |
| 2月15日 | 08:00～12:00<br>14:30～16:30<br>17:00<br>19:00～23:00 | お経<br>伝統中国楽器演奏（琵琶、箏など）―崇学小学校<br>汁粉食事会<br>クイズ大会 |

7：30　廟庭で世間話をする7人解散．木下の4女2男グループも解散．1中，2老年男性は庭を廻って散歩している．自家用車で来た若い女性1人が参拝に入った．徒歩中年男性も参拝．中年夫婦がバイクで参拝に来た．廟事務所に雑務をしている中年男が1人と女性2人がいる．世間話をしているグループ1（中年女性3人）とグループ2（中年女性4人と尼さん1人）がいる．正殿で参拝をしているのが中年男2人と女性10人（若いのが2人，中老年8人）である．

7：50　赤ん坊を抱いている若い女性は掲示版を見ながら，中年女性と話をしている．散歩老人1人，中年男1

写真1：朝の廟庭

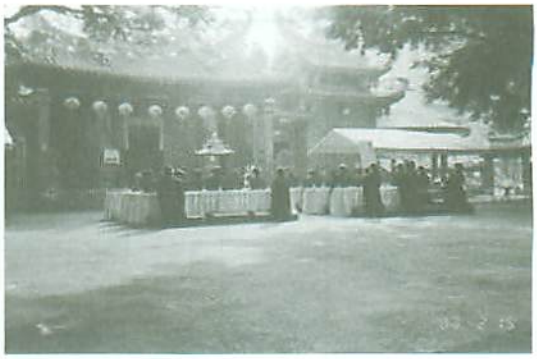

写真2：廟庭での読経団（ほとんど中老年女性）

写真3：午後廟庭で汁粉を食べている人達

写真4：午後小学生達の伝統中国楽器演奏会

人が去った．徒歩できた中年女性1人は参拝した．中年女2人と男1人は附属室から庭に椅子と机を運搬している．木下で休憩をしていた老人は帰った．ワゴン車で来た老婦と中年男は参拝に来た．若い男女カップルは見学，観光．散歩をしていた老人は体操をしている．机の運搬に女性6人と尼さん1人も参加．木4の下では中老年男性が3人で会話中（1人は座って，2人は立っている）．

8：00　自家用車の若い女性とワゴン車が去った．もう一台の自家用車が来た．中年男性と少年1人は参拝に来た．中年女性2人2台のバイクで参拝に来た．若い男性は庭で散歩．中年男性3人は木4下で立ったまま会話中．

8：10　仕事の待ち合わせのような女性15人（中年10人，若いのが3人）と中年男性2人は木1下で集合．すぐにどこかへ行った．参拝の自家用車2台がきた．1中年男性と若いカップルが参拝に来た．

8：20　若い女性と男性はバイクで参拝に来た．若い男性は赤ん坊を抱いて散歩．中年女と若い女性は花を持って，1台のバイクで参拝に来た．掃除の婦人はまだしている．

8：40　経を唱える人たちは準備が終わって，男3人と女17人は廟庭でスタンバイしている．木1下で中老年男性5人は見ている（立つ1人，座る4人）．中年女性1人は赤ん坊を抱いて散歩している．木4下で老人3人は碁を打っている．木3下で婦人1人，青年1人，老人1人と子供1人は座っている．木2下で老人1人座っている．3婦人は庭で経を読む団体を見学中．1中年男性が自転車で来て，木1下に座る．

8：50　木3の青年1人，老人1人と子供1人は車で去った．木4の下碁を打つのは中老年男性4人，荷物を届けてくる車が入った（中年男）徒歩婦人2人と中年男は廟に入って参拝．中学女子は散策中．木1の下に中老年男7人は座ったり，立ったりしている．花を持ってきた2人の女性はバイクで去った．2婦人はバイクできて，木1自転車で来た男と話をしている．木1の老人は木4へ移動して，碁を見る．2婦人はバイクで来て参拝する．

8：55　荷物車は出て行った．読経が始まる．庭の掃除の婦人は続けている．廟内も1婦人は掃除をしている．バイク3台が入って，木3の下に止まる（2中年女性，1男性）．1中年男性と老人は廟庭を，自転車で行き来中．木4下に中年男性がバイクでやってきて，碁を見る．
隣に座っている老人1人．若いサラリーマン2人がバイクで来て庭で人と待ち合わせ．

9：00　又婦人2人がバイクで参拝に来た．木1の下に中年の4女3男は立ったまま話をしている．他に老人4人が座って涼んでいる．木3下に中年男3人，老婦1人，老人2人，女の子1人が座っている．経を読む団体を見ている．若い男性8人，女性1人はバイクで来て，サラリーマンの2人と合流して廟へ参拝に入った．

9：05　木1下にまた作業服の中年女性6人と男性5人が集まっている．隣の椅子に老人3人が居眠りをしている．木3下に婦人2人，中年男1人，若い男性3人，若いカップル2人，子供1人が涼んでいる．木4下に碁を打っている人3人と，観戦している人が6人でいる．隣に新聞を読んでいる人が1人（中年男）と会話中の老人が2人いる．

9：10　木1の集合者が去った．サラリーマンの参拝者が離れた．家族らしい3人（中年夫婦，少年）は1台のバイクで果物を持ち，参拝に来た．

9：15　木4下に碁を打つ4人と観戦6人がいる．隣に中老年男性6人が座っていて涼みやお喋りをしている．自転車の老人は孫を乗せて庭を廻っている．廟建築にずっと10人ぐらい参拝者が行ったり来たりしている．涼亭に涼んでいる老人が1人いる．婦人2人と若い女性1人バイクで来て，参拝する．

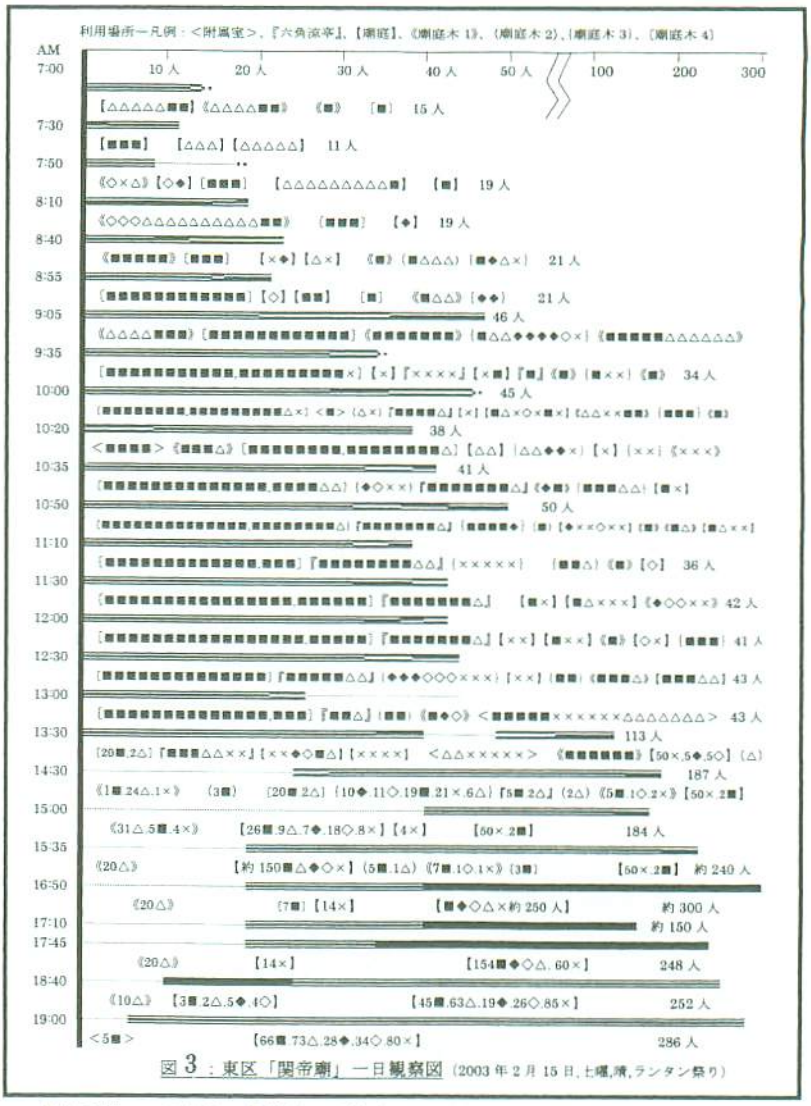


図3：東区「関帝廟」一日観察図（2003年2月15日，土曜，晴，ランタン祭り）

図3：関帝廟一日観察図

9：35　参拝が終わった男の子3人，女の子1人は涼亭で遊んでいる．木3に中年男1人と男の子2人が座っている．木4の碁グループは2組みになって，中老年男性が11人いる．会話中の6人グループに又中年男3人と女の子が1人参加．女の子は1人自転車で庭を廻る．木3下に中年男1人しかいない．若い女性が子供1人を連れて廟にはいって参拝する．木1に老人1人運動，1人涼み．

9：50　木4：碁グループ1—打つ3人と見る1人．グループ2—打つ4人と見る子供1人．隣にお喋り中の人が6人と涼み1人がいる（全部中老年）．木1：体操をしている老人1人と経を読む団体を見る婦人1人がいる．木3：女の子1人と老人1人は経を読む団体を眺めている．1老人は乳母車を押して庭を散歩している．綿飴の屋台は門の外に来ている．

10：00　木4：碁を打つ，おしゃべり中の人達は16人（15中老年男性，老婦1人，子供1人），婦人1人，中年男性は女の子を連れて庭を散歩する．木3：老人3人（1人は新聞を読んでいる．2人は涼み）と老婦2人（お経団を見ている）．木1：老人1人でたばこを吸っている．隣に孫を連れた老人が1人いる．中年婦人2人と女の子1人は涼んでいる．木2：婦人1人と男の子は経を読む団体を見ている．小さい男の

子1人が庭で散策中．若いお母さんは庭で子連れ散歩をしている．2人中年男性は自転車で入って来て，1人は木3へ，1人は木4に参加する．若いカップルが参拝に来た．涼亭に老婦1人と老人4人は会話をしながら，お茶を飲んでいる．

10：20　経を読む団体は休憩．木1：中老年男性3人，老婦1人が涼んでいる．隣に子供3人（1男2女）は遊んでいる．木3：2青年，2婦人は会話中．4老人は涼みと子供1人は遊んでいる．木4：碁を打つグループと会話や涼みをしているのは17人である（1老婦，16中老年男）．仮設ステージの上で子供2人が遊んでいる．左附属室前に婦人2人は立って会話中．廟庭で女の子1人は自転車に乗っている．

10：35　木4：20人になった（2婦人と18中老年男性）．木3：2老婦，3中年男性は涼みをしている．2人の子供は遊んでいる．若いカップルは話をしている．木1：涼みの老人は1人とたばこを吸っている若い男性．老人1人は玩具車に乗っている孫を押して廟庭を散歩している．

10：50　涼亭でお茶を飲んでいる人は8人になった（1老婦，7老人）．木3：若い男1人と老人3人は涼んでいる．中年男性1人は立って携帯で話している．木4：碁グループ1—中老年男性4人打つ，1人見る．グループ2—4人打つ，5人観戦．他に9人はお喋りをしている（老婦1人と中老年男性8人）．木1：タクシーの運転手は休んでいる．夫婦は駐車する．居眠りの中年男性1人いる．木2：ラジオを聞いている老人が1人いる．若い男性は2人の子を連れて庭を散歩する．若い女性は乳母車で2児を押して散歩．中年夫婦は2人の子供と綿飴を買ってから，参拝に行った．2人子連れ夫婦は廟に入って参拝する．

11：10　涼亭には2老婦と8老人がお茶を飲みながらお喋りをしている．木4：16人がいる．木3：1婦人と2中年男性は涼みをしている．仮設ステージに5人のこどもが遊んでいる．木1：中年男1人は椅子に横になっている．正殿ではずっと10何人の参拝者が行ったり，来たりしている．若い女の子1人は参拝が終わってから，綿飴を買った．

11：30　参拝が終わった夫婦は3人の子を連れて，綿飴を買いに行った．若い男性1人と女性2人は2人の子供（1人は綿飴を舐めている）を連れて木1に座って，休んでいる．木4：碁グループは3つになった．22人は全部中老年男性．1老人は孫を連れて綿飴を買っている．涼亭は8人になった（1老婦，7老人）．

12：00　木1：昼寝の中年男1人いる．他の場所は変わってない．子供2人は庭を走っている．木3：中老年男性3人は涼みをしている．若いお母さんは乳母車を押して散歩をしている．老人はバイクに孫を乗せて，綿飴を買っている．自転車少年も綿飴を買っている．若い男性は2人の子供を連れて廟へ参拝．

12：30　ずっと木2の下にいる老人は去る．木4：碁グループは14人である．木3：若い男女6人（3男，3女）は話をしている．中年男性2人は涼み，2人の子供は遊んでいる．涼亭には2老婦人，5老人は話しながら，弁当を食べている．木1の下：3人の中年男性は涼んでいる．隣の婦人1人はドリンクを飲んでいる．庭には3人の中年男性は散策中．2人の婦人は散歩．子供2人は廟庭を走っている．綿飴の屋台は門から少し離れた場所へ移動する．

13：00　涼亭には3人（1老婦，2老人）しか残っていない．木3の下：2人の中年男は涼み．木4：17人いる．木1：1人の中年男性と若いカップルが涼み中．徒歩で来た参拝者：2人の中年男性と1人の老婦と若い女性3人である．廟内に10人ぐらい参拝者がいる．左附属室に（手伝いに来た人とその家族）いる男女18人（中年男5人，婦人7人，子供6人）は食事をしている．

13：30　木4：碁グループと会話中は20人の中老年男性と1人の婦人，1老婦である．観光バスが古典楽器を演奏する小学生達を乗せて来た．演奏する男女小学生は50人ぐらいで，また10人ぐらいの若い男女スタッフはステージで準備をしている．涼亭に2老婦，2老人と2人の子供が座って話しながらステージを眺めている．ステージの前に4列の椅子が並べられて，2人の老夫婦と一家族4人（若い夫婦と子供2人）は椅子に座って，演奏を待っている．庭には女の子4人が散策中．廟内の参拝者は20人ぐらいいる．左附属室のカウターの中に2人の中年男性は仕事をしている．周りに婦人2人と女の子5人がおり何か手伝っている．木1：老人6人は涼んでいる．木2：婦人1人は居眠りをしている．

14：00　木1（左附属室前の仮設テントで）は16人の赤い運動用の制服を着ている婦人は汁粉を作っている．隣に老人1人が涼みをしている．女の子1人は側で遊んでいる．木2:2人の中老年男性が話している．木3，ステージ前：中老年男性14人と女性7人（婦人2と若い女性5），子供8人（男2と女6）が椅子に座って，演奏を待っている．

14：30　木3，ステージの前に観客が集まってきた．若い男10人，女性11人，女の子14人，男の子7人，老人19人，老婦6人である．木4：人数は変わってない（同1：30）．碁を打つ人達と会話しながらステージ

を眺める人たちである．涼亭に老婦2人と老人5人である．汁粉を作るところは婦人24人と男1人と子供1人である．木2：老人3人（涼み）と婦人2人がいる（お喋り）．木1：8人（老人4．中年男1，若い婦人1と男の子2人）は演奏を待っている感じである．

15：00 演奏が始まる．ステージ前の観客は老人26人．老婦9人．若い男7人，若い女性18人．男の子8人と女の子20人である．音楽を聴いて入ったり．参拝に行ったりする人数は20人ぐらいいる．汁粉のところは婦人31人，中年男5人．女の子3人と男の子1人は手伝っている．庭には男の子2人と女の子1人が居り．自転車で走っている．もう1人女の子は滑るボート車で行ったり来たりしている．

15：35 木3．木4とステージ前に約男女老若150人ぐらいの観客が集まっている．行ったり来たりする参拝者も約30人いる．木2：中老年男性5人と婦人1人は演奏を聞いている．木4：碁を打つ人は続けているが．3人しかやってない．木1：中年男7人と2婦人．男の子1人は演奏を聞いている．隣の婦人20人は汁粉作りを手伝っている．

15：50 演奏は一段休憩．ステージ上は5人だけが演奏している．観客と汁粉作りの人たちを入れると240人ぐらいである．正殿に参拝のため行ったり来たりしている信者は10人ぐらい．

16：05 廟庭にいる観客はもっと増えてきている．木4の碁グループはまた2組になっている．

16：45 木4の碁グループは続けている．観客はステージ前と4本の木の下に集中している．300人ぐらいである．そして行ったり来たりしている参拝者も約30人に増えてきている．ほかに自転車で庭を走っている子供が4人とボールで遊んでいる子が10数人いる．

16：50 演奏会が終了．汁粉を食べる会が始まる．数十人が列に並んで紙茶碗に入れている汁粉を取る．汁粉を取ってから皆木の下にある椅子に座って．食べ始める．碁グループは解散．トラック2台はステージの前で演奏設備を取り外してから車に積む．

17：10 汁粉を食べ終わってから．一部の人が続々と去っていった．また演奏が終わって，迎えに来た親たちも子どもをつれて去っていった．人が行ったり来たりしているが．まだ150人ぐらい残っている．

17：30 汁粉を食べる人が続々と入ってくる．200人ぐらいいる．女性と子供は約60%強．残りは男性である．

17：45 汁粉を食べる人出は廟庭を賑わしている．家族連れや子供連れとお年寄りのお供して来た若い人たちが多い．鍋を持ってきた人もいる．10数人の子供はステージの上で走っている．全部で大人154人と子供が74人いる．

18：00 委員会の人は続々と謎当て大会の商品を廟の付属室からステージのそばに出し始めている．賞品はバイクやテレビ．洗濯機．電子レンジ．自転車などである．今晩は地域内の里民の楽しむ会も一緒である．里民達も皆賞品籤券を持っている．廟建築を飾っている電球が一斉に灯もされた．あちこちの光も灯して．明るくなった．参拝者はやはり何十人が行ったり来たりしている．汁粉を食べる人がちょっと去っていった．

18：05 会場に赤いプラスティックの椅子が何百も運搬されてきた．ステージの前に並べている．汁粉を作るところはやはり十数人が手伝っている．

18：40 一度散っていた人出はまた寄ってきた．廟庭に人が万杯である（老人48人．老婦65人と若い男性24人．女性30人．男の子29人．女の子56人）．汁粉は続けて供給している．

19：00 夜の楽しむ会が始まる．女性歌手がステージで歌い始める．その次はみなが待っている賞品を籤で引き出すことである．廟の放送から660キロの汁粉の供給はもうすぐ終わるとの呼びかけが聞こえた．このときの観客は老人66人，老婦73人，若い男28人．女性34人，男の子43．女の子37人である．全部で約281人である．

以上より．関帝廟を観察した日は「ランタン祭り」．しかも土曜日であったため．参拝は平日より多いといえる．地域の「老人会」は廟の涼亭を利用するので．日常的に10人前後の高齢者が廟にいる．他に木陰で碁を打つ．運動．涼み．お喋り．散歩に来る人が毎日20数人いるそうである（管理員）．午前中は常連中心に多くの大小の集団が並存し．一人はほとんどなかった．これらの利用は平日・祝日とは関係ないそうである．時間帯は午前10時前後と午後3時前後がピークである．そして，昼食の時間帯も減少することなく午後からの祭りへと移行した．昼少ないのは祭りのための人の出入りが多くなったためと思われる．雑談や碁の集団は中・老男が多いが．昼過ぎの古典楽器演奏が始まると．若い男女と子どもの数が増え，なかでも子どもが最も多くなった．例えば，3時の演奏開始時に演奏中の小学生以外に，32人いた（観客は92人）．そして，汁粉会や夜の楽しむ会も継続し

て70～80人の子供が大小の集団でいた．とりわけ祭りの廟は，近隣の子どもにとって楽しみの場所である．午後からは一人行動は少なく大半が大小さまざまな集団を形成し，廟内はどこも過密状態でイスを利用できる人は限られており，自在に設備施設を利用しながら祭りを楽しんでいた．

表2　：集いの行為内容と行為者及び場所（祭りのとき）

単位：行為数(回)

| 行為 / 場所 | 散歩（回遊） | 涼み | 暇潰し | 汁粉食事会 | ボランティア | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年齢構成 | ■ △ ◆ ◇ × | ■ △ ◆ ◇ × | ■ △ ◆ ◇ × | 男女老若 | ■ △ × | ■ △ ◆ ◇ × |
| 附属室 | | | | | 5 7 6 | 1 1 |
| 涼亭 | | 1 | 8 2 6 | | | |
| 廟庭 | 7 3 3 3 15 | 20 7 8 6 7 | 66 73 28 34 85 | 約250 | 6 40 4 | 20 38 13 5 6 |
| 注 | | | 廟庭：演奏会とクイズ大会。 | | | 廟庭：中老女の読経団 |

注：＊涼み：他人との会話なし。＊暇潰し：世間話やお茶を飲む、碁やゲームをするなど。
＊その他：昼寝、駐車、待ち合わせなど。
＊中老年：■、中老女：△、若男：◆、若女：◇、子供：×。

また，年中行事におけるこの廟での男女の役割分担は表2)，男性は祭りの企画運営（演奏会，クイズ大会）を，女性は汁粉作りと大勢での読経を分担している．男性が企画中心で，女性はそれを支える役割や宗教利用であり，伝統的な役割分担が残っているといえる[注2]．

利用場所を見ると，中老年男性をも含めた中老年女性や若い男女，或いは子供が多数，様々な利用を廟庭中心に展開しており，廟庭の自在に使える開放性が指摘できる．また，ここでも涼亭利用を女性が避ける傾向が幾分うかがえる．年中行事などは，集い利用の中心者だけでなくあらゆる層が参加するため，帰属意識や廟の存在をどの層も広く再確認すると考えられ，これからの新しい層の集い利用に有効であるといえる．そしてそれを支える空間として廟庭が重要である．

## 5.　まとめ

廟の一日観察についてまとめる．午前中は常連中心に多くの大小の集団が並存し，一人はほとんどなかった．時間帯は午前10時前後と午後3時前後がピークである．そして，昼食の時間帯も減少することなく午後からの祭りへと移行した．昼少ないのは祭りのための人の出入りが多くなったためと思われる．雑談や碁の集団は中・老男が多いが，昼過ぎには，若い男女と子どもの数が増え，一人行動は少なく大半が大小さまざまな集団を形成し，廟内はどこも過密状態でイスを利用できる人は限られており，自在に設備施設を利用しながら祭りを楽しんでいた．

集団の構成メンバーは，集い利用の午前中のメンバーを中核にあらゆる年齢層に拡大し，更に男性中心から，女性も加わったものへと変化した．しかもイベントにおける女性の役割も明確に決められており，出番が用意されている．男性が企画中心で，女性はそれを支える役割であり，伝統的な役割分担が残っている．子供の出番はないが，イベント内容は子供が楽しめるものである．このようなイベントへの企画や参加を通して，近隣住民は自らがイベントの担い手であると同時に，自分のためのイベントであることを感じ取り，帰属意識を高める．しかも集いに利用する高齢男性だけでなく，女性や子供まで含めた地域住民全体へ拡大する．

利用場所をみると，廟庭中心にみんなで様々な利用を展開しており，廟庭の自在に使える開放性が特徴である．また，涼亭利用を女性が避ける傾向が幾分うかがえる．年中行事などは，集い利用の中心者だけでなくあらゆる層が参加するため，帰属意識や廟の存在をどの層も広く再確認すると考えられ，これからの新しい層の集い利用に有効であるといえる．そしてそれを支える空間としてとりわけ廟庭が重要である．

廟建築や庭の規模が大きく，しかも付属設備が整備されているなど，住民の交流やイベントに使いやすい条件のある廟は地域住民にとって重要な場所となっている．

関帝廟は広い廟敷地と整っている空間構成であるため，近所の住民にとって集いとして公共施設の公園より居やすいし，居心地のいい場所になっている．ある程度の廟庭の広さ，便利な附属施設と設備は集いの利用に欠かせない条件である．

## 注

注 1) 蕭玉燕・鳥飼香代子：「台南市における廟の集い機能に関する研究（利用者について）」
日本建築学会九州支部研究報告，第 41 号，pp.333-336，2002.3
蕭玉燕・鳥飼香代子：「道教廟の利用内容と廟空間の考察－台南市における道教廟の集い機能に関する研究（その 1）」
日本建築学会計画系論文集，第 585 号，pp.79-86，2004.11

注 2) 編者：中国農村慣行調査刊行会，「中国農村慣行調査」，第一，四，五巻，岩波書店出版，1952 年．第四巻，村落篇，pp32，竜王廟の「雨乞」部分：「女は行列に加わるか — 加わらない．それには何か理由があるか — 別にないが，慣例で女は参加しない．」，pp34「座の時には女は参列するか — しない．降雨後謝神のときには女も来て良い．何故初めから女が来てはいかぬか — 女は不浄だという訳である．」廟の行事は男中心で女は加わらなかったことを示している．しかし参拝は許された．
「廟を移すについて村民が集まったことがあるか — あった．どこに集まったか — 廟．たくさんの人が来たか — 然り，候全武が呼び集めて，郷公所と学校を作るので廟を移すと話した．女も来たか — 来なかった．」廟の行事だけでなく村の集会も廟で開かれ，女は参加しなかったことが分かる．
監修：櫻井徳太郎，民俗宗教 4，東京堂出版，1993 年，pp.231-257